

今月のテーマ 『母子の健康月間』

第1472回例会

2017年4月13日 Vol.31/No.36

■本日の例会 / 第1473回 平成29年4月20日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告…各委員長
- イニシエーションスピーチ…磯口淳 新会員
- 会員卓話…黒木陽子 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……53名
- ・出席者 ……32名
- ・欠席者 ……21名
- ・出席率 ……61.54%
- ・3/30の修正出席率…61.82%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

こんにちは。やっと桜が咲きそろいましたね。そうすると必ず嵐がやってきて、せっかくの桜を吹き散らします。「花の命は短くて・・・」です。だからこそ愛おしいのかもしれませんが。春は又旅立ち（巣立ち）の季節でもあります。お子さん、お孫さんが新しい環境へ生まれ、新たな経験をされている事でしょう。4月9日の宮日「茶の間」と言う投稿欄に、東京の会社に就職される次男の方に「日常5行」の書かれたご主人がお使いの湯のみを「持たせよう」と書いておられる方がありました。「日常5行」とは「ハイと云う素直な心、すみませんと云う反省の心、私がしますと云う奉仕の心、お陰様でと云う謙虚な心、ありがとうと云う感謝の心」だそうで、ご実家の壁にもこの言葉が貼ってあり「いつとはなしに眺めていた」とも書いておられました。そういえば昔は何らかの注意事項が目につく所に貼ってあり「家・家族」の心得として生活の中で教育されていましたね。又同じ日の「スポーツでぐんぐんすすくと」と言う記事には「三っ子の魂百まで」と3歳までに経験して身に付けたことは一生忘れないと書いてありました。脳細胞は3歳までに大人の70%までに発達するのだそうです。ですから3歳までの間に両親がどう子供と関わって行くかがとても大事との事です。昔からの言い伝えは全て経験から得た人間の知恵だと思います。今はそのような格言を子供に伝えて行く親がどの位いるのでしょうか。昔は何かにつけ年長者が若い人たちに語って伝え、教育をして行きました。「道徳の授業」などと言わなくとも、家庭でそのようなことは自然に行われていたと思います。それこそが家庭教育であり親でした。親という字は身を美しくと書きます「身を美しく」とは外見上の美し

さではなく、言葉・所作・行為全てを指していると思います。それらはその人の人柄を表し、他の人とのコミュニケーションの時に重要な要素となり社会生活を送るにその人の強い力となると思います。「ロータリーとは突き詰めると哲学である」と聞きます。要するに人間性。人とはどうあるべきか？「人としてどのような人生を送るのか？」ということでしょう。つまりロータリアンとしての活動がその人を切磋琢磨し磨いて行くという事だと思います。武者小路実篤さんが「真善美」という言葉を言っておられますが、私も全ての究極は「美」だと思っております。その行為・事柄が真実か？善か？4つのテストと同じですね。「美」を目指して頑張りたいと思います。

■幹事報告

幹事 江藤 敏治



みなさん、こんにちは。幹事報告です。4月22日鹿児島空港ホテルにて地区奉仕研修セミナーが実施されます。加治木ロータリークラブ様から50周年記念式典のお礼が届いております。

■新会員入会式

日高 淑晶 会員



■ゲスト卓話

NPO 法人 アースウォーカーズ 小玉 直也 様



福岡の現状は、月日とともに語るにも難しく、支援するにも難しい今日となっています。色々な情報が錯綜し、安全だという住民と不安だという住民が共存する中、放射能に



不安を感じている方々の支援を5年目に入って継続していく事となります。今回の報告集では「第4回福島の子どもたち宮崎に来んねキャンプ」の報告だけでなく、アースウォーカーズの活動全般報告と収支決算も掲載させていただきました。今年度から、福島の小学生以下の子どもたちの、日帰り保養プロジェクトがスタートし、山形県米沢市で毎月開催しました。また、中学生になると部活を始め、反抗期にも入り保護者の意向に合わず保養に出る事を拒む子どもたちもいると聞き、海外のプロジェクトとして中学生をオーストラリアに連れていく企画をスタートしました。チェルノブイリでは18歳以下の子どもたちの保養が国の制度として義務付けられてる事もあり、その保護者のニーズをくみ取り2年前に出会ったMakiさんが設立したSmile with Kidsと共催で開催しました。新たに始まったプロジェクトを加えるとアースウォーカーズを通じて年間のべ約250人の福島の親子をサポートさせていただく事となりました。一方、残念ながら前年度に開催した高校生をドイツに連れていくプロジェクトは2014年は寄付が集まらず開催できませんでした。2015年は、「福島を伝え、再生可能エネルギーを学ぶ 福島ドイツ高校生交流プロジェクト」として開催したいと思っています。今回の報告集では2013年に開催したプロジェクトの報告を掲載させていただきました。ぜひご覧ください。さて、新たに始まった中学生のプロジェクトですが、きっかけは福島県二本松市の佐々木自然さんと2012年にオーストラリアに行き約15回の報告を現地で開催し、その際に出会った方々に支えていただいていた今回の企画となりました。初めての海外の佐々木さんとシドニーの国際線ターミナルに到着して、ここから国内線に乗り継いでケアンズに訪問する。その乗り継ぎを佐々木さんをお願いすると「無理、無理、無理!!」と拒否反応。「じゃあ、どこ?って英語では?と私が聞くと「えーっと、WhatじゃなくてWhichじゃなくてWhereだ!」と佐々木くん。「じゃあこの国内線のチケットを持ってWhere?って聞いてみよう。親切な人は教えてくれるから。その代わり、間違えないように3人に聞いて一致したらそちらの方向に行こう!」自分の英語に自信が無い中、以外と頑張れば通じる事を実感し英語に触れていく。

アースウォーカーズのプロジェクトでは、子どもたち一人一人が成長できるようサポートしていきます。そんな2012年の中学生のプロジェクトがバージョンアップして開催されたケアンズでの保養プロジェクト。中学生たちの日々の成長に涙がこらえられないシーンも続出して最高のプロジェクトがスタートしました。いま、帰って来た中学生たちが「海外に留学できる高校に行きたい!」とか「早くオーストラリアに帰りたい」という声も聞かれて保護者の方からも「1週間で成長した我が子が頼もしい」と歓迎の声や「部活を継続するか迷っていたが、オーストラリアで吹っ切れて帰国して頑張り県大会で優勝し、全国大会に出場する事になりました!」など、うれしい声が寄せられています。単に保養という意味あいだけでなく、将来の福島や日本を支える子どもたちの成長に寄付できるという喜びも感じられるプロジェクトとなっています。日本の教育の枠を超えて新しい世界観は広がり可能性が無限にある事を感じられる、オーストラリアやドイツのプロジェクトが継続できるよう引き続きご支援をよろしくお願ひします。

### ハッピーボックス (敬称略)

- 甲斐孝則…誕生日のプレゼント有難うございました。六十六才になります。六十歳の還暦から七十歳の古希まで、十年間お祝いが無いので百貨店協会がミドリの漢字を使って、六十六歳を緑寿(ろくじゅ)と言う、新たな歳祝いを掲唱したそうです。次の古希まで頑張ります。
- 黒木陽子…先週は誕生お祝いを頂きまして、ありがとうございます。昭和39年東京オリンピックの年の生まれです。あっという間に53年が過ぎました。ますます楽しい人生にしたいと思っております。今後ともご指導の程、どうぞよろしくお願ひ致します。ありがとうございます。

### 出席委員会報告 委員長 岡田圭史

#### ◆3/30メイクアップ者名(敬称略)

片木重光、川崎新一、日高海雄、三輪修珍、山川 力、平松 寛、秦喜八郎

先週の第1471回例会週報が「第141回」となっておりましてので、訂正とお詫び申し上げます。

### 発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
 ●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町須山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
 会長/菅川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敬治